



不動産ラインガルテン

都市・農村交流拠点

## グリーン・ツーリズムにより移住促進を図る丸森町

不動産ラインガルテン、<sup>ひっぼ</sup>筆甫<sup>まるもりちよう</sup>ラインガルテン（宮城県伊具郡丸森町）

### ■ プロジェクト実現のプロセス

丸森町は宮城県の南端に位置し、阿武隈山地に囲まれた盆地状の町である。

人口は昭和29年の合併当時約3万人をピークに、高度成期を通じて人口流出が続き、過疎化が進行する中で平成17年現在、約1万6800人まで減少し、依然その傾向は続いている。その中でも、丸森町の豊かな自然で農業を目指す若者や団塊世代の人たちが現われて、都市部から移住する事例が見られるようになってきている。

丸森町では昭和63年の阿武隈線全線開通と県立自然公園指定を契機として、観光と交流を通じた地域の振興推進を図っている。

具体的な政策としては、第3次丸森町長期総合計画に基づく「丸森型グリーン・ツーリズム」の一環として平成12年度に不動産ラインガルテン（18棟）と、平成17年度に筆甫ラインガルテン（8棟）を開設した。

施設の内容		
	不動産ラインガルテン	筆甫ラインガルテン
開設年度	平成12年度	平成17年度
団地面積	45464m <sup>2</sup>	9997m <sup>2</sup>
農園の区画	18区画	8区画
1区画の面積	区画面積：約300m <sup>2</sup> 農地面積：約150m <sup>2</sup>	区画面積：約300m <sup>2</sup> 農地面積：約150m <sup>2</sup>
休息施設 (ラウベ)	延べ床面積：約43～46m <sup>2</sup> 全戸キッチン、バス、トイレ、ロフト	延べ床面積：約51m <sup>2</sup>
体験学習施設	クラブハウス：延べ床333m <sup>2</sup> 研修室、調理加工施設等	クラブハウス：延べ床147m <sup>2</sup> 管理室、談話室、調理室等
その他の 付帯施設	多目的広場、駐車場、直売場、展示見本農園、休息所、あずまや、散策路、炭窯き場	多目的農地、駐車場、直売場、堆肥置き場
下水、ゴミ 処理等	下 水：合併処理浄化槽 ゴ ミ：生ゴミ堆肥化 電 話：各戸に地中化配線 テレビ：個人対応	下 水：合併処理浄化槽 ゴ ミ：原則持ち帰り 電 話：各戸に配線あり テレビ：共同アンテナ、個人対応

施設利用の内容		
	不動産ラインガルテン	筆甫ラインガルテン
利用規約	使用料：年間36万円 期 間：1年単位契約、3年継続利用可能 その他：使用心得遵守	使用料：年間36万円 期 間：1年単位契約、3年継続利用可能 その他：使用心得遵守
利用者選定	アンケートによる有資格者を決定のうえ面接（抽選）	アンケートによる有資格者を決定のうえ面接（抽選）
応募条件	月2泊以上、4日以上通園して農園の手入れ可能なこと 有機栽培実践が可能なこと	月2泊以上、4日以上通園して農園の手入れ可能なこと 有機栽培実践を実践すること
作付け支援等	管理組合の講習会：年1回 管理組合の支援：随時 指導料：無料	管理組合の講習会：年1回 管理組合の支援：随時 指導料：無料



管理組合長の池田さん(右)と仙台から移住した佐藤さん



観光客で賑わう直売場

導入事業		
	不動尊クライנגルテン	筆甫クライングルテン
事業名	「特定地域における若者定住等緊急プロジェクト」(自治省)	新山村振興等農林漁業特別対策事業(農林水産省)
内容	特定地域の活性化の担い手である若者層の定住促進を主たるテーマとして地方自治体に対して財政的な支援が行われるもの	既存の観光資源や農林業資源を活用し地域の特性を活かした高付加価値・高収益型農業の展開を図るもの。対象地域は今後とも農林漁業が地域の主要産業であることが見込まれる地域であり、自然、社会、経済的諸条件に恵まれた地域
助成内容	過疎地対策事業及び地域総合整備事業債を充当、元利償還金の約55%~70%の相当する額について地方税措置	事業費 約1.8億円 国費(50%) 0.9億円 県費(10%) 0.2億円 町費(40%) 0.7億円
事業費	約5.5億円 (内訳)敷地造成費 約1.0億円 休憩小屋 約1.7億円 クラブハウス 約0.9億円 その他 約1.9億円	約1.8億円 (内訳)敷地造成費等 約0.6億円 休憩小屋 約0.8億円 電気設備 約0.4億円

利用者の実績			
不動尊クライングルテン		筆甫クライングルテン	
県内	仙台市 10組 多賀城市 1組 岩沼市 1組	県内	仙台市 5組 名取市 1組
県外	福島市 1組 白河市 1組 埼玉県 1組 東京都 3組	県外	福島市 1組 神奈川県 1組

両地区とも好評で、近隣居住者だけでなく首都圏居住者からの問い合わせも多い。また、東北初の取り組みであったためかマスコミに数多く取り上げられている。

## ■ 仕組みと工夫

### 地域農家による管理運営

不動尊クライングルテンは丸森町不動尊市民農園管理組合が指定管理者となり管理・運営をしている。管理組合は近隣の農家が設立した組合で、クライングルテンの管理・運営と隣接する直売場の運営、収穫祭等のイベントを実施している。

直売場は3月から12月までの土・日・祝日に開店し、旬の新鮮野菜を中心に豊富な品揃えが不動尊観光客に好評である。

イベントは管理組合の主催で年4回程実施しており、クライングルテン入居者と地域住民のコミュニティの醸成や地域の活性化につながっている。

管理組合は4人体制で、管理事務所

内に常時一人が配置されている。クライングルテン利用者に年1回の講習会と作付け指導を随時しており、クライングルテン利用者も安心して農ある暮らしを楽しんでいる。

また、隣接直売場やイベント開催等を介して地域に密着した幅広い活動を行っている。

この管理体制がクライングルテン運営のモデルにもなっており、地方公共団体の見学者も多い。

### 宅地分譲地の提供

町では不動尊クライングルテンの隣接地に20画地の分譲住宅を建設し、クライングルテン卒業者(\*)に定住地を提供している。敷地は165~268坪で価格は550万~790万円。

## ■ 移住者の声

佐藤さんは仙台市内在住だが、定年退職を機に不動尊クライングルテンの利用を始めた。釣りが趣味の佐藤さんはクライングルテンでの農的な暮らしとの両立が大変気に入って、

今では隣接の別荘を中古で取得し、田舎暮らしを満喫している。妻は、仙台市内に住んでおり従来の生活を送っているが、週末には丸森に来て一緒に過ごしている。

「不動尊クライングルテンは管理組合の皆さんが中心になり、イベントなどを通して地域のコミュニティを形成していることが素晴らしい」と笑顔で話した。趣味が高じて、今では地元の漁業組合の理事になって活躍している。

「丸森は空気や星がきれいで、新緑や紅葉も素晴らしく、地元の方も親切で、満足している」と田舎暮らしを満喫している。

\*卒業者：クライングルテン利用後、丸森に移住や定住した人

問い合わせ先	
●丸森町の窓口	担当課 丸森町産業観光課農村交流班 所在地 宮城県伊具郡丸森町宇鳥屋120番地 電話 0224-72-3026 URL <a href="http://www.town.marumori.miyagi.jp/">http://www.town.marumori.miyagi.jp/</a>
●不動尊市民農園管理組合	所在地 宮城県伊具郡丸森町宇上滝西35-5 電話 0224-73-1150
●筆甫体験農園管理組合	所在地 宮城県伊具郡丸森町筆甫字中下30-3 電話 0224-76-2230 URL <a href="http://plaza.rakuten.co.jp/taiken2230/">http://plaza.rakuten.co.jp/taiken2230/</a>